

〔第31回学術集会 シンポジウム1〕

アメリカの専門看護師の役割とキャリアの多様性

元クイーンズメディカルセンター

ヴァンオメン 里香

アメリカで専門看護師 (Clinical Nurse Specialist: CNS) は、高度実践看護師 (Advanced Practice Registered Nurse: APRN) の中の一つの職種として位置づけられる。CNSになるには、正看護師 (Registered Nurse: RN) の免許を持ち、専門看護師養成の認定を受けている大学院でのコースを修了することで、資格試験を受ける条件を満たすこととなる。アメリカでは、CNSの資格試験は対象者によって大きく3つに区分される：新生児期、小児期、成人高齢期 (National Association of Clinical Nurse Specialists [NACNS], n.d.)。CNSは患者/家族ケア、看護師/看護行為、組織管理の3つ spheres of influence に関わる重要な能力を持つ専門家として訓練された看護師を指し、活躍の場は多岐にわたる (Fulton et al., 2014)。CNSの資格を取得後、州のAPRNの免許に申請することになるが、州によって、CNSが実施できる医療及び看護行為の範囲は異なる。CNSの資格は5年ごとの更新が必要であり、専門とする分野における継続教育を受けていることや、研究活動に携わっていることなどを示す必要がある。

本講演では、アメリカ、ハワイ州において私が経験した、CNSに求められる役割を事例を用いて紹

介した。CNSは所属する組織や部署、そして共に働くチームからの要求によって、多様な働き方ができる。紹介する2つの事例を通して、CNSの特徴である3つの spheres of influence に対する働き方、またCNSとして患者家族へのかかわり方の可能性を考えた。

CNSの活動は全てEBPをもとに実施することが求められており、最新の研究や方針、スタンダードに精通している必要がある。また、一人だけではこれらの活動を行うことはできないため、他職種、他部署も含めて一緒に働くことが大切となり、リーダーシップとしてのスキルが必要となる。CNSは一つの事例の解決で終わるだけでなく、全体への適応性やニーズをアセスメントし、チームもしくは必要であれば組織を引き込んで、安全な看護や医療を提供することを常に目指すところにあると感じる。

引用文献

- Fulton, J. S., Lyon, B. L., & Goudreau, K. A. (2014). Foundations of clinical nurse specialist practice (2nd ed.). Springer Publishing Company. National Association of Clinical Nurse Specialists. (n.d.). What is a CNS? <https://nacns.org/about-us/what-is-a-cns/>